

三浦市は、2020年5月に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す「ゼロカーボンシティみうら」を宣言しました。

この通信では、「ゼロカーボンシティ」を目指して地球温暖化・省エネ・再エネに関するトピックなどをお知らせします。

前号のおさらい

- ・温室効果ガスの排出量が多すぎると地球温暖化を招く
- ・地球温暖化は、極端な降水などの災害や農漁業への被害につながる
- ・温室効果ガスにはいろいろな種類があるが、影響が大きいのは二酸化炭素（CO2）
- ・では、二酸化炭素の排出を減らすにはどうすれば良い？



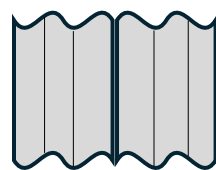
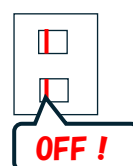
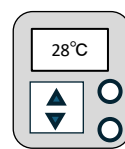
まずは節電から

二酸化炭素は、主に化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）の燃焼によって発生します。日本の電気は、およそ7割が火力発電によるものです。火力発電は、化石燃料を燃やして得られるエネルギーを電気に変換するものなので、使う電気を減らすことは二酸化炭素排出量の減少につながります。

節電の方法①

機器の使い方や環境を整えることで節電する方法です。

- ・エアコンの設定温度を冷房28℃、暖房20℃にする
- ・使っていない部屋の照明、空調を切る
- ・衣服の調整により無理のない範囲で冷暖房を控える
- ・カーテン、ブラインドなどにより外から入る熱、外へ逃げる熱を減らすなど。



節電の方法②

効率の良い機器への更新等によって節電になるものです。

例えば、約12年前の製品と比べると、エアコンは年間約70kgの二酸化炭素を削減し、電気代は年間約7,300円お得に、冷蔵庫は年間約108kgの二酸化炭素を削減し、電気代は年間約11,400円お得になります。また、照明（シーリングライト）を蛍光灯からLEDに変更することで年間約29kgの二酸化炭素を削減し、電気代は年間約2,100円お得になります。

※蛍光灯は水銀に関する水俣条約でその製造・輸出入が2027年までに段階的に廃止されることが決まっています。今あるものを廃止期限以降も使うことはできますが、計画的にLED照明器具へ交換していくことをお勧めします。

（参考：環境省 デコ活HP <https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/action/goods/>）



節電の他に二酸化炭素の排出を減らす方法はある？
次回の配信に続きます。